

新たな森林経営管理制度導入に伴う森林整備の推進

～ニーズに応じた支援の実践～

後志森林管理署

【現状・課題・目的】

○市町村等は、森林環境譲与税の有効な使途の検討に当たり、森林整備を進める上で林業経営に適した森林か否かの現況見極めに苦慮
○このため、市町村等に対し森林施業等の技術支援をすることにより森林整備を推進

【これまでの取組や成果】

○市町村、森林組合、当署職員を対象とした研修会を開催
→ドローン等新たな技術・知識の向上が図られた
○民有林作業現場見学を実施
→事業者と採材の仕方や高性能林業機械使用などについて意見交換し、現場実態の相互理解につながった



【平成31年度の取組予定】

市町村、森林組合等のニーズの把握

①意見交換

市町村等の担当者が国有林に対して何を求めているのかを聴く場の設定（会議の開催、市町村等への訪問）

②民有林現場の見学

サポートチームを中心として民有林の事業の実態を見学し、現場の声を聴く



支援策の検討

- ①把握したニーズを基に、実施可能な支援の検討
- ②具体的な支援に係るサポート体制の構築

支援の実践

別事案について市町村・森林組合等への技術支援市町村、森林組合担当者を対象とし、ニーズに応じた研修会を開催



今年度の取組で目指すところ

○市町村・森林組合等担当者への技術支援

○担当者のさらなるスキルアップ

地域の森林の適切な整備のため、森林現況の適切な把握ができるようにする



道総合振興局と連携して実施

【今後の目標】

森林施業への技術支援を行い、市町村等とともに地域の森林の適切な整備を推進する

令和元年度
取組結果

「新たな森林経営管理制度導入に伴う森林整備の推進」

～ニーズに応じた支援の実践～

後志森林管理署

目 標

森林施業への技術支援を行い、市町村等とともに地域の森林の適切な整備を推進する

令和元年度取組

取組の内容

取組の成果

市町村、森林組合等の
ニーズの把握

- ・市町村等林政連絡会議（森林組合を含む）を地区毎に開催
- ・道振興局と連携して市町村の林務担当者を個別に訪問
- ・モデル地区町有林事業予定箇所の現地調査や民国連携安全パトロールと併せて民有林施業現場の現状を把握

ニーズ：森林整備を推進するために現況を効率的に把握したい

市町村訪問



ビッターリッヒ法を実践



支援策の検討

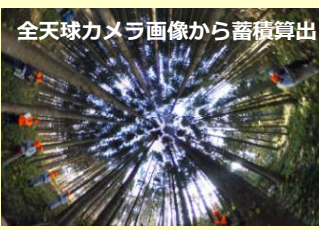
- ・市町村等林務担当者のスキルアップのための「山の見方」研修会の開催
- ・効率的な森林の現況把握が可能な最新技術（全天球カメラやドローン等）を紹介
- ・市町村有林の現地で技術支援を実施

支援策

安全パトロール



全天球カメラ画像から蓄積算出



支援の実践

- ・市町村及び森林組合の林務担当者を対象に、フィールド確認やスリット板作成などの準備を事前に整え、ビッターリッヒ法や全天球カメラによる現況把握方法を学ぶための「山の見方」研修会を道振興局と連携して開催
- ・モデル地区町有林の次年度伐採予定箇所において、町職員の技術講習会も兼ねて現況把握のための標準地調査を道振興局と連携して実施

「山の見方」研修会の開催などを通じて、市町村等林務担当者が自ら森林現況の把握を行う契機となった。

目標に対する達成度

- ・スキルアップにつながる実践的な技術支援をテーマに開催した「山の見方」研修会は、地域の森林を適切に整備するための第一歩となった。なお、より多くの参加者を集めるには、開催方法等に工夫の余地があった。
- ・モデル地区町有林における林況把握や伐採方法の検討等の技術支援を行い、間伐などの森林整備を進めることができたが、他地域への波及にまでは至らなかった。

次年度の取組予定

- ・ニーズに沿った研修会や技術講習会を引き続き開催することにより、市町村等林務担当者の更なるスキルアップを目指し、円滑な運営に向けた所要の調整を早期に行う。
- ・モデル地区の取組を継続するとともに要支援市町村有林の掘り起こしを進め、現地の実態に合った技術支援を行う。



道振興局と
連携して実施